

～Warm People～

町民代表 山 川 俊 郎

●摘みたてリンゴで心温まる出迎え

予定通りに到着、のはずが、シカゴ空港での入国審査に遅れが発生。急遽シカゴでの宿泊となったりと慌ただしい日程となりました。が、半日遅れでボストンに到着。やっとの思いでロビーに出ると、そこには大きな横断幕が。そして沢山の笑顔が私達を出迎えてくれました。その瞬間、長旅の疲れは一気に吹き飛んでしまいました。それぞれにハグで無事到着を喜び合った後にリンゴと水、そして菓子などが手渡されました。私達の体調を心配し、その日の朝に近くの果樹園で摘んで来たというリンゴはパリンと新鮮で甘く、前の晩から落ち着いて食事をしていなかった私の胃も心もすっかり癒されたのでした。

何という心配り、そして温かな出迎えでしょう。

●何て素敵なホストファミリー

私と星村さんがお世話になったのは、コンピューターの研究者で、大学での仕事を退いたジャックさん。デザイナーのナンシーさんご夫妻のお宅でした。対面式でお二人の笑顔を見ただけで心の温かさが伝わって来ました。お嬢さん達は二人共に独立し、10月には末娘に孫が産まれることを



とても楽しみにしている姿は、同世代の私としてはとても親近感があり、一緒に生活もとても和やかなものとなりました。

お二人は在宅での仕事の傍ら、地域へのボランティア活動にも励んでおり、飾らず周囲の人々には温かい姿に接していると、自分もこの様に生きたいものだと思ってしまう。16年もの永きに渡り七飯町からの訪問者を受け入れて来られたという経験とも相俟って無理のない、従って滞在者には心地よい理想のホストファミリーの在り方を体験から学ぶことが出来ました。

●コンコードの朝は早い

旅先では早起きして周辺を散歩するのが習慣となっており、初めての朝は張り切って6時に起きました。カーテンを開けて外を見ると未だ真暗。時計が狂ったのかと確認したのですがちゃんと動いていました。緯度が同じ七飯町の朝6時だと薄明かりにはなっている筈なのですが。7時少し前にようやく外出出来る明るさになり散歩へと出発。家の前の道路をライトを点けた車が次々に走り去る様子を見て驚いてしまいました。こんなに暗いのに既にコンコードの人々は動き出しているのです。200m程歩くとT字交差点があり、そこでは右折する黄色の大型バスが行列を作っていました。すぐ近くには七飯高校と昨年姉妹校となったコンコードカーライル高校があり、そこへ向かうスクールバスです。時刻は午前7時。信じられない暗さ。何と、授業は7時15分からスタートするのだそうです。マサチューセッツ州の名門校の生徒達は早起きして頑張っているんですね。

因みに緯度が同じ七飯町との暗さの差はDay Light Saving（日本でいうサマータイム）の期間中だからであり、暗いうちから一日がスタートする代わりに夜まで明るく、一日を有効に使えるので良い制度だと思います。

●甘い1日

正確に言うとコンコード周辺で4軒のアイスクリーム店を訪問し見学したり試食した1日という事です。仕事の関係上、事前に見学をお願いしたい旨をトムさんに伝えてありました。願いは適えられ、それぞれの店でとても参考になる話を聞く事が出来ました。抹茶アイスへの関心が高く、今後製造したいという店にはレシピを送る事も約束してあります。それぞれの店での味見にはSサイズを頼んだのですが、日本の3倍の量はありました。日本ではソフトクリームが人気ですが、米国では圧倒的にアイスクリーム好きの人々が多い事に驚きました。トムさん、デンティーノさんも子供の様な笑顔で山盛りのアイスを食べペロリ、ペロリ。おいしい1日でした。

●一芸に秀でよ

飲食店経営にも関わっている関係で、数軒のレストランを訪れる機会もありました。コンコード駅の近くに在る古い小さなレストラン(?) “カントリーキッチン” はターキーサンドが有名で昼には行列が出来るらしいのですが、店の広さは畳2枚程度と狭くイスが2脚置いてあるだけ。9割以上は電話注文でのテイクアウトだそうで納得。おばさんが1人で切り盛りしておりました。もう一軒はNYへの移動途中に立ち寄る事が出来たハンバーガー発祥の店“ルイスランチ”。こちらは創業から120年程の歴史があり、以来変わらぬ味と姿

勢が多くの人々に支持されて今日に至っております。4代目の当主にお逢い出来て初代からの伝統をしっかりと受け継いでいる話を聞くことが出来ました。

両店が1つのメニューだけでこれ程の永い年月を乗り越え、今でも多くの人々に愛されている理由は何でしょうか。それは、これこそがこの店の自慢の一品というべき料理をとことん磨き上げて来たからに外なりません。

一芸に秀でよ。私はこれらの店から力強いメッセージを授かりました。

●心地よい言葉は嬉しい

コンコードでも多くの人々から気軽に言葉をかけて頂き、滞在がより楽しいものとなりました。外国を旅していると、出逢う人々との気軽な挨拶や言葉のやり取りがその一日をととても楽しいものにしてくれます。”Have a great day”と”Enjoy your trip”は中でも大好きな言葉で、これを大沼でも観光客の皆さんにどんどん使いたいのですが、日本語では何と言ったらこの心が伝わるのか、と日々考えております。ズバリ直訳で”楽しい一日を”とか”旅を沢山楽しんで”とか言うておりますが、ちょっと照れてしまいます。でも言われた皆さんは間違いなく笑顔になりますよ。何か素敵な日本語はありませんか。

●百聞は一見に如かず

私達の生活は世界との関わりの中で成り立っている事実を自分自身の目で見て体験出来る事、そして同時に外から日本や自分を見つめる事が出来るこの様な交流はとても貴重です。若者の立場から、また、七飯町民として世界に貢献できる事は何か、を考える素晴らしい機会です。この事を可能にしてくれるコンコードの皆様の素晴らしい行動力と優しさに心から感謝致します。そして又、素晴らしい活動を七飯町で支えて下さる多くの皆様と七飯町の姿勢も私達の誇りです。感謝申し上げます。

